

保育実習指導 I □	2年	前期・後期	形態 単位数	演習 2 単位	担当教員名	齋藤亮一・井坂 亨 大平雅弘・小玉幸助
	卒選	幼選 保必				
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>① テーマ : 保育実習の意義・目的・実習の内容を理解し、課題を持ち、実習を体験し、新たな課題や目標を明確にする。</p> <p>② 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の意義と目的、内容を認識し、保育所・施設実習に必要な専門知識、援助技術を理解し、実習に生かすことができる。</li> <li>・保育実習への基本姿勢、実習に必要な書類や手続等についての理解を深める。</li> <li>・実習施設における子どもの人権と最善の利益を考慮し、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。</li> <li>・保育実習を体験し、その反省を踏まえ、新たな課題や目標を明確にし、課題解決の学習に取り組んでいく。</li> </ul>						
<p>授業の概要</p> <p>保育実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、学習目標・課題を明確にするとともに、保育実習の位置づけ、各保育実習の福祉施設の目的や保育士の保育の基本・業務などを学び、実習に際して、事前・事中・事後においてなすべき内容を理解し、保育実習の全体を把握する。</p>						

授業計画

コマ	項目	内 容
第 1 回	保育実習指導の概要のオリエンテーション	・保育実習の意義・目的・内容の理解 ・保育実習の年間プロセス・手続・日程の確認
第 2 回	保育所実習事前訪問の目的と方法	・実習先事前訪問の目的・方法・内容、心構え ・実習先の実習受け入れ体制
第 3 回	保育所実習の内容と方法	・観察・参加・責任実習の各方法の目的・内容の理解
第 4 回	保育所実習の内容と方法	・実習指導計画の立て方、実習記録の目的・方法
第 5 回	部分・責任実習の内容と方法	・保育所（園）の1日の流れと保育士の活動 ・部分案・日案・月案の理解と作成
第 6 回	部分・責任実習の内容と方法	・部分実習指導案、全日指導案の作成
第 7 回	実習での基本姿勢	・実習の心構えと実習先から求められる実習姿勢
第 8 回	施設実習での意義と内容	・福祉施設の種類・各施設の特色と相違点
第 9 回	施設実習での意義と内容	・施設実習の意義と内容の理解
第 10 回	施設実習事前訪問の目的と方法	・実習先事前訪問の目的・方法・内容、心構え ・実習先の実習受け入れ体制
第 11 回	施設実習の内容と方法	・施設実習の捉え方、学習の形態と対象
第 12 回	施設実習の内容と方法	・勤務者としての心構え、見学・観察・参加・部分・全日実習について
第 13 回	施設実習の内容と方法	・施設養護における処遇の展開、記録・日誌の意味と方法
第 14 回	実習直前指導（保育所）	・各自にとっての保育所実習の意義の明確化 ・実習に向けての最終確認と終了後の手続について
第 15 回	実習直前指導（施設）	・各自にとっての施設実習の意義の明確化 ・福祉施設労働の意味 施設児の周辺 最終確認と終了後の手続について
第 16 回	事後指導	・実習で実践したことをまとめる。 （保育所・施設実習を終えての反省と感想、今後の課題と目標）
第 17 回	事後指導	・実習を終えてのレポート作成（保育所） ・実習新聞の作成
第 18 回	事後指導	・実習を終えてのレポート作成（施設） ・実習新聞の作成
第 19 回	事後指導	・実習新聞の作成
定期試験	定期試験なし	
テキスト	「保育実習の手引き」宮城県保育士養成校連絡協議会、「教育・保育・施設実習テキスト」健帛社	
参考図書	保育所保育指針解説書	
教員の 評価方法	学習への関心・態度（20%）、指導案、レポート、実習新聞等の課題の内容（80%）により総合的に評価	
準備学習等 履修上の留意点	授業後の課題、次時の学習準備	